

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	白根児童センター		
管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
担当課	南区役所健康福祉課		
所在地	新潟市南区白根1372番地		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市児童館条例		
施設概要	敷地面積 3,846.86㎡ 建築面積 1,272.21㎡ 延床面積 2,544.42㎡ 構成施設の内容 1階 小プレイルーム (36.9㎡)、図書室 (38.1㎡)、事務室 (28.27㎡)、静養室 (15.0㎡)、トイレ (28.26㎡)、ひまわりクラブ (133.0㎡)、その他 (177.62㎡)、ピロティ (671.78㎡)、倉庫1 (110.0㎡)、倉庫2 (33.28㎡) 2階 集会室兼ボランティア室 (47.52㎡)、活動室 (49.5㎡)、遊戯室 (154.0㎡)、トイレ (21.0㎡)、アリーナ (770.0㎡)、その他 (194.44㎡)		

施設設置目的
児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操を豊かにし、白根地域における地域児童の健全育成支援や育児不安に陥りがちな母親支援を目的として、子どもが自由に遊べる屋内遊戯の場と子育て支援を行う場を併せ持つ施設として児童館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
新潟市児童館条例の規定に基づき、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操を豊かにするための児童館とするため、以下の項目を基本方針とします。 1・子どもの健全育成をはじめ、ボランティア活動や地域社会と協力連携しながら、地域住民に親しまれる児童センターとします。 2・子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全安心な遊び場としての機能を兼ね備えるとともに、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行います。 3・「中高生の居場所づくり」も強く求められており、別棟の大きなアリーナを、中高生を含めた健全育成の事業の場として活用することを考えています。また、ひまわりクラブ（放課後児童クラブ）も併設することから、クラブ利用者との交流や、利用施設の提供等も期待しています。 さらに、大プレイルーム棟については旧白根市の伝統文化である白根大風合戦に使用する、大風の制作を行う場としての利用も行います。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	行事だより、ホームページ等による児童センター活動に関する情報発信 2回以上/月	・毎月、区報「みなみ風」に行事を掲載 ・毎月、児童館だよりを発行し、HP・Instagramに掲載 ・Instagramでのイベントの発信	B	児童館だよりを発行し、HPやInstagramも活用して広報を行った。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)(基準: 120人×358日)42,960人以上	来館者数: 50,968人 1日平均: 142.4人 開館日数: 358日	B	来館者数、1日平均利用者数の目標を達成した。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	行事ごとに実施 幼児向け: 5回 小学生向け: 5回 利用者への聞き取りを行っている。	B	行事ごとにアンケートを実施したほか、利用者への聞き取りも行い利用者のニーズに沿って運営した。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答 苦情・要望マニュアルの整備	・報告が必要な苦情・事故は発生時に報告書を担当課へ提出している。 ・意見箱を常時設置し意見反映に努めている。要望には可能な限り答えるようにしている。 ・対応マニュアルはワークスコープとして整備されている。	B	報告が必要な苦情や事故に対して職員間で対応の意識が徹底されている。対応マニュアルが整備されており、意見箱を設置して意見を受けやすいように整えている。
	事業の実施	・乳幼児向け、小中高向け事業の実施数 4回以上/月 ・地域、関係機関との連携事業実施数 2回以上/年	【乳幼児向け事業】 ・BP講座、BP2講座、各1回 ・ベビーマッサージ2回/年 ・お話の時間 2回/月 ・ちびっこ工作 1回/月 ・「水遊び」、「クリスマス会」、「節分」等季節のイベントを実施 【小学生向け事業】 ・作って遊ぼう 1回/月 ・折り紙の日 1回/月 ・アリーナ(遊戯室)で遊ぼう 1回/月 ・「水遊び」、「クリスマス会」、「節分」等季節のイベントを実施 【地域・関係機関との連携事業】 ・子育てオーエンジャー☆みなみと「ほっぺちゃん広場」、白根地区社会福祉協議会と子育て安心ささえ隊3739と共催で「プラントーの花植え」「親子リトミック」「けん玉教室」「親子工作」を実施。 南区自治協議会と南区地域総務課と共催で夏休み4日間「みんなで宿題～ハッピー夏休み♪～」を実施。 ・白根大風合戦本新蝶組と子ども風合戦に参加。白根児童センターの風をあげた。 ・南区児童センター・児童館4館合同「スタンプラリー」「小学生ドッジボール大会」を実施。	A	各階層の利用者のニーズに応じた魅力ある事業を目標以上の回数実施した。地域や関係機関との連携が多数行われ地域との良好な関係が築けている。

財	業務の効率化	施設利用者1人あたり 運営経費631円以下	1人あたりの運営経費436円	B	事業費の削減に 努め目標を下回 ることができた
業 務	設置目的の理解	・運営協議会の実施数 2回以上/年 ・業務仕様書に定める 事項の遵守 違反回数 0回 ・建築設備の保守管理 協定書に定める回数以上	・地域運営協議会は7月・2月の2 回実施。 ・業務仕様書における違反はなし。 ・建築設備の保守管理は、外部業務 委託により定められた回数以上 を実施。	B	地域運営協議会 を実施し、事業運 営に活かしている と認められる。ま た、設備の保守管 理を規定通り実施 し、適正な管理に 努めている。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期 報告	苦情・事故発生時には、事故対応 後早期に担当課に連絡。その後、 報告書を提出している。	B	発生時の迅速な 報告を心掛けた。
	安全安心の確保	防災訓練実施回数年2 回以上	・8月22日：避難訓練（火災） ・11月22日：避難訓練（火災・通報 訓練）	B	規定回数の訓練 を実施し、災害発 生に備えた。
	コンプライアンスの 確立	児童福祉法、新潟市児 童館条例の遵守、個人 情報等の守秘義務マ ニュアルの整備	・個人情報PCや外部媒体には 記載せず、施錠できる場所に保管 している。 ・入館受付を職員が行い個人情報の 漏えい防止に努めている。 ・個人情報の守秘義務マニュアル はワーカーズコープとして整備さ れている。	B	各規定を遵守し、 業務を実施してい る。個人情報はマ ニュアルに沿って 取り扱っている。
	業務仕様書に定め る事項の遵守	その他業務仕様書に定 める事項の遵守	・業務仕様書等に定める事項は遵 守している。 ・その他、すぐ相談できるよう事業 所でも把握し、遵守に努めてい る。	B	仕様書の内容を 把握し、業務を遂 行した。
人	配置人員条件の水 準維持・育成の適切 性	業務仕様書に定める人 員配置 配置人員のミッションの 理解度とスキルの習得 度 年2回以上の研修 参加	・業務仕様書等に定める有資格者 を2名以上配置し、利用者の安全 確保を図ることのできる職員体制 を取っている。 ・新潟市が実施している研修・連 絡総会に参加。・職員それぞれが 各種研修会や勉強会・講習会など に年2回以上参加。	B	人員を適正に配 置していると認め られる。研修会に 参加し、人材育成 にも努めている。

【評価基準】

- A: 要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準（評価指標）が達成されている
 C: 要求水準（評価指標）が達成されていない

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

・白根地域を中心に各地域からの来館者が増え、区外市外からの来館者も多くなった。アリーナ目的の来館も多く事前に使用可能か問い合わせをもらうことが増えた。また、園外保育の雨天案「雨プロジェクト」も多く申し込みがあり、園外保育の利用も多かった。

・乳幼児事業は土曜日開催をしていることから、未就園児のみならず園児も参加できることに喜んでもらった。中でも季節のイベントは小学生がお手伝いをしてくれたり、高校生と一緒に企画するなど、こども達が主体的に関わり、一緒にイベントを楽しむことができた。

・小学生事業は毎月の「おりがみの日」では、地域の方が講師となり、こども達に折り紙を教えてもらった。また「お花を植えよう」では子育て安心ささえ隊3739さんと、「みんなで宿題～ハッピー夏休み～」では南区のボランティアの方々にご協力頂き、こども達は地域の方と多く交流する機会があった。

・高校生が主体的にイベントを企画、運営し小学生等が楽しめる環境になったのは、日頃の職員との関わりから高校生が白根児童センターを居場所とし、活動の機会を持てたことが一番の要因だと感じている。実際に児童館OBも毎週のように白根児童センターに来所し、こども達と一緒に過ごしたり、職員の手伝いをしてきている。「〇〇にお世話になったから」「〇〇が言うなら」と職員との関係性が感じ取られることが多かったように感じている。これからも地域の若者が児童センターのこども達と関わり、地域のこども達が育まれる環境に繋がることを願う。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

施設の設置目的及び管理運営に関する基本理念・方針等を常に意識し、その他業務仕様書等に定める事項の遵守も徹底している。

事業開催の日程を工夫したり、当センターの特徴であるアリーナを活用するなどして多くの方からの利用されるよう努めた。地域ボランティアや高校生が館の運営にたずさわって、地域と連携した児童館運営を行っている。

指定管理者として、利用者が安心安全に利用できるよう対策も徹底されており、全ての項目について要求水準以上を達成した。